

会 議 議 事 録

1. 日時等

日時	令和6年1月26日(金) 13:30~15:00
場所	日之影町民ホール
会議名	令和5年度第5回日之影町地域公共交通会議

2. 議事

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

(1) 区域運行の予約型乗合交通実証事業の期間延長等について

上平委員 「すまいるバス」について、アンケート調査では「残して欲しい」との意見が多いようだが、その理由などについては把握しているのか。

建設技術研究所 アンケート調査では転換に対する意向の理由まではお聞きしていない。
ただし、その他の設問での自由記述回答などを見ると、決まった時間に運行するほうがそれにあわせて外出する予定を立てやすいといった内容も見られることから、比較的自由度の高い予約型では逆にいつ外出するのか迷ってしまうようなことが一因としてあるのではないかと考えている。

平川(誠)委員 利用登録者アンケート調査の回収が約半数程度と少ないが、今後もアンケート調査などを実施していく予定はあるか。

事務局 今回は実証事業の中間的な評価のためにアンケート調査を実施しているが、今後も引き続き地域の声を聴きながら検討・取り組みを進めていきたいと考えている。

※区域運行の予約型乗合交通実証事業の期間延長等については提示した案の通りで承認された。

(2) すまいるバス八戸線運行ルートの見直し実証事業の期間延長について

大井委員 町では移住・定住などにも取り組まれており、子育て環境といったことを考えると、是非高校に上がる前の中学生にも八戸線に関する声掛けをお願いしたい。

事務局 様々な形で情報を発信していきたい。

建設技術研究所 今回の実証事業での事前広報では、資料でもお示ししている通り、運行内容などの基本的な情報についての周知に終始しているが、例えばこの便で行くと路線バスに乗り継いで延岡や高千穂に通勤・通学できる、といった具体的な外出をイメージしやすい情報提供内容などについても検討していきたい。

甲斐会長 八戸線については、延岡～高千穂線の補完という役割もあるが、システムの再編(みなし系統化)について現時点でお話いただけることがあればお願いしたい。

平島委員 現在、行政と協議中となっており、今の時点ではお話できないが、まずは路線の生き

残りということが最重要であると認識しており、町や県とも協議しながら路線存続に向けてがんばって取り組んでいきたいと考えている。

※すまいるバス八戸線運行ルート見直し実証事業の期間延長については提示した案の通りで承認された。

3. 報告事項

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

(1) すまいるバス八戸線運行ルートの見直し実証事業の有償化について

大井委員 路線バスとの乗り継ぎ利用に向けた対策として乗り継ぎ割引なども検討する必要があるのではないか。

平川(浩)委員 通学・通勤での利用促進、との記載があるが、例えば1回300円の運賃で毎日往復利用すると月に1万円以上の負担になる。路線バスの運賃とあわせるとかなりの費用負担となるため使いつらいのではないか。

通学については、入学後の3年間を踏まえて下宿にするか自宅から通学するかを考えることになるため、将来的にもしっかり運行を維持していくことを明確にする必要がある。

甲斐会長 町では「子育てしやすいまち」といったことも打ち出していることから、例えば高校生まで無料にするようなことも考えても良いかもしれない。

(2) 区域運行の予約型乗合交通の本格運行に向けたすまいるバス集落線の見直しの検討について

※質疑等は特になし。

(3) すまいるバス循環線のダイヤの見直し等の検討について

甲斐会長 循環線の土曜日については、中学生からの要望を受けて令和2年度から運行を行っている。土曜日に部活や図書館、スポーツ施設などに行きたい、といった話ではあったが、実際の利用状況としては資料の通りであるため、見直しもやむを得ないと考えている。

4. その他

○次回、本年度第5回の地域公共交通会議については、3月21(木)13:30から開催予定である。

5. 閉会

以上